

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護論実習Ⅱ
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数（時間）	1単位（45時間）	開講年次	2年次 第2学期
講義概要 *講師からのメッセージ	本実習では、これまでの学習を活かしながら地域包括ケアシステムの実際について、地域のボランティア活動への参加を通して、地域住民同士の協力や助け合いの意義について理解を深めましょう。医療機関や介護施設、福祉施設では、社会保障制度を利用の実際や多職種との連携・協働の実際について理解を深めましょう。		
<p>目的：地域で生活する対象や家族を支える社会資源の実際について理解し、看護実践に必要な基礎知識・技術・態度を身につける。</p> <p>目標：1. 地域で生活している対象や家族を支える社会資源の活用法について理解する 2. 保健医療福祉活動を通して、地域で生活する対象や家族について理解する 3. 地域で生活している対象を支援するために、他職種と協働することの重要性を理解する 4. 看護者としての必要な態度を養う</p>			
授 業 内 容			
<b>居宅介護支援事業所</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居宅介護支援事業所の概要と介護支援専門員の役割について理解する。</li> <li>2. 居宅療養者と家族の生活環境を知るとともに、健康・生活上の問題に対する社会資源の活用方法について理解する。</li> <li>3. 家族の役割および、介護上の問題を理解する。</li> <li>4. 居宅介護支援事業所における他職種との連携について理解する。</li> </ol>			
<b>通所型サービス（通所型サービス・就労継続支援事業所）</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通所型サービスについて理解する。</li> <li>2. 通所型サービスを利用する在宅療養者および家族の特徴について理解する。</li> <li>3. 療養者のセルフケア能力を維持・向上する必要性について理解する。</li> <li>4. 療養者と家族を支える社会制度を理解する。</li> <li>5. 他職種との情報共有の在り方と看護師の役割について理解する。</li> </ol>			
<b>入所施設（介護療養型医療施設・介護医療病院・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・グループホーム・軽費老人ホーム・児童養護施設・障害児入所施設）</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域包括ケアシステムの見学をとおして、地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動の実際について理解する。</li> <li>2. 地域包括ケアシステムに関わる施設や職種の役割を理解する。</li> </ol>			
<b>地域のボランティア活動参加</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で行われているボランティア活動に参加し、地域住民の支えあいの実際について理解する</li> <li>2. ボランティアなどの支援を必要とする対象の思い、願い、困りごとについて理解できる</li> </ol>			
授業方法	臨地実習、一部は学内で実施		
評価方法	以下の内容を実習評価表に沿って評価を行う 対象の理解、看護実践、態度		
備考	<p>関連科目：地域で暮らす人々を支えるしくみ、地域福祉、地域在宅援助論Ⅱで用いたテキストや授業資料を活用する。</p> <p>実習要項で示された事前学習をする。</p> <p>夏季休暇前には、参加する地域のボランティア活動を決定するとともに、実習計画を担当教員に提出する。</p>		